

## 第6回教育委員会（定例）議事録

### 1. 開 会

令和元年9月27日（金） 午後2時00分

### 2. 場 所

市役所本庁舎4階 401・402会議室

### 3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 垣内 敬造

委 員 井上 友香

委 員 中村 貴子

### 4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次 長 酒井 宏

課 長 小林 康弘

課 長 森本 康幸

課 長 尾松 直樹

課 長 前中 斉

課 長 柏戸 隆弘

課 長 村上 由樹

館 長 樋口 裕昭

館 長 小林 純一

所 長 齋藤 昭

所 長 酒井 直隆

指導主事 大野 圭一

指導主事 酒井 美世子

学校経営指導主事 高橋 京子

係 長 田中 真紀子

主 事 河野 元秀

### 5. 議事日程及び議案

別紙の通り

### 6. 開会宣言

午後 2時05分

### 7. 会 期

（自）令和元年9月27日

（至）令和元年9月27日 1日間

### 8. 会議録署名委員名簿

井上 委員

### 9. 閉 会

午後 3時53分

前川教育長 全委員 前川教育長	<p>日程第 1、前回定例会議録の報告・承認について意見等はないか。 異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p> <p>日程第 2、会議録署名委員は 4 番井上委員とする。</p> <p>日程第 3、会期は令和元年 9 月 27 日、本日 1 日間とする。</p>
酒井次長	<p>日程第 4、議案に移る。議案第 1 号の「丹波篠山市教育研究所設立に係る基本構想の策定について」学校教育課説明を求める。</p> <p>《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員	<p>別冊 1 の 6 ページの組織体制に関する記載について、先進地と比較し丹波篠山市の人員配置は問題ないのか。人員が少ないように感じるが、機能を果たすのに適切であるのか。</p>
酒井次長	<p>加西市、三田市、猪名川町を視察してきたが、各市町、人口規模、教育研究所の果たす役割に応じて人員配置をしていた。</p> <p>丹波篠山市教育研究所（仮称）では、基本構想で掲げている目標を達成できると考えられる人員配置をしているが、財政状況等も関連してくるので今後も引き続き協議、検討が必要となってくるかと思われる。</p>
稲山部長	<p>教育委員会だけでは解決できない課題であるので、人員面、施設面で市長部局と協議を重ねていきたい。</p>
酒井委員	<p>予算が限られていることは重々承知している。「どこに」、「何に」お金をかけるのかをしっかりと協議をして、設立の目的が達成できるよう努めてほしい。</p>
中村委員	<p>3 点意見を述べたい。1 点目の「学力の充実」について、もう少し踏み込んだ内容を記載してほしい。2 点目の「幼児教育の充実」では、教育委員会と市長部局で連携して「オール丹波篠山」で質の向上に取り組んでほしい。3 点目の「教育の情報化の充実」は非常に期待しているので頑張してほしい。</p>
酒井委員	<p>幼稚園長を小学校長が兼任しているのは、「幼児教育の充実」の面から考えると改善が必要なことである。全ての園に専任の幼稚園長を配置することが難しいのであれば、施設の統廃合も含めて検討していく必要があるのではないか。</p>
垣内委員	<p>概念図の色合いについて、非常に見やすくなった。感謝している。</p> <p>研究機関は、崇高な理念を持つことは非常に重要であるが、市民に「なぜその機関が必要であるのか」という存在意義を知ってもらうことも非常に重要である。設置の意義、また効果を表現していくことにも注力してもらえたら嬉しい。</p>
井上委員	<p>現場の教員との連携が重要であると考えます。機関の設置が有意義になるよ</p>

	う努めてほしい。
前川教育長	議案第1号の「丹波篠山市教育研究所設立に係る基本構想の策定について」異議はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員賛成で、議案第1号の「丹波篠山市教育研究所設立に係る基本構想の策定について」を可決する。
前川教育長	議案第2号の「丹波篠山市立幼稚園規則の一部を改正する規則の制定について」から第4号の「丹波篠山市預かり保育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」までは関連するため、一括提案、説明とし、採決については、個々に行う。こども未来課説明を求める。
前中課長	《議案書に基づき説明》
垣内委員	4号議案について、これまで滞納されている預かり保育施設保育料は今後も徴収活動を行うのか。時効はあるのか。
前中課長	10月1日から、保育料は無償化となるが、それ以前の保育料に関しては徴収が必要であるため、10月1日までの未収金については、今後も徴収活動を実施していく。未収金が今後なくなれば、「施行の際現に納入されていないものについては、なお従前の例による」という経過措置の附則を削除する予定である。
井上委員	無償化に伴い、これまで現年分に充てられていた児童手当を過年度の未収金返済に充てることができるという理解で良いか。
前中課長	児童手当については、現年分のみ充てることになっているため、過年度の未収金には充てることができない。
酒井委員	保育料は無償となったが、保護者は給食費等を含めると月々どの程度の費用負担となるのか。将来的に全面無償化は検討されているのか。
前中課長	各家庭は給食費の負担が必要である。対象となる家庭には、費用面など制度変更に伴う変更点をまとめた文書を送付する。全面無償化について、一部市町では検討する動きがでていますが、丹波篠山市では検討していない。
前川教育長	議案第2号の「丹波篠山市立幼稚園規則の一部を改正する規則の制定について」異議はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員賛成で、議案第2号の「丹波篠山市立幼稚園規則の一部を改正する規則の制定について」を可決する。
前川教育長	議案第3号の「丹波篠山市立認定こども園規則の一部を改正する規則につ

全委員 前川教育長	いて」異議はないか。 異議なし。 全員賛成で、議案第3号の「丹波篠山市立認定こども園規則の一部を改正する規則について」を可決する。
前川教育長	議案第4号の「丹波篠山市預かり保育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」異議はないか。
全委員 前川教育長	異議なし。 全員賛成で、議案第4号の「丹波篠山市預かり保育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」を可決する。
前川教育長	日程第5、報告事項に移る。報告1「後援名義の承認について」教育総務課説明を求める。
田中係長	《議案書に基づき説明》
前川教育長	報告2「第120回丹波篠山市議会議長月会議一般質問について」教育総務課説明を求める。
小林課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	議案書P.12向井委員の質問「さきっ子 子育て いちばんプラン」の評価と今後の計画について、「さきっ子 子育て いちばんプラン」の進捗状況は教育委員に情報共有されていたか。
前中課長	現時点の進捗状況報告はしていない。
酒井委員	可能な範囲で構わないので情報共有をこまめにしてほしい。
前川教育長	報告3「第3期丹波篠山きらめき教育プラン（答申）について」教育総務課説明を求める。
小林課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	今後5年間は子どもの数が減少していくことが予想される。就学前教育からしっかりと計画をたてて、実行に移していくことが重要である。 学力状況調査において中学生は目標を達成しているが、小学生は目標未達成である。学力向上に向けて個々の学校の状況に合わせた改善策とともに根本的な改善も必要であると考えられるので、対応してほしい。
酒井次長	課題が明確となっても対策の具体策をしっかりと立てなければ改善は図れない。各学校、教員と連携して改善に取り組みたい。
前川教育長	新しい学習指導要領や新しい大学入試が始まることに伴い、子ども達が身

酒井委員	<p>につけなければならない能力が変化しているため、従前の考え方では厳しい。求められる能力に応じた教育をプランに反映し、一貫して行いたい。</p> <p>パブリックコメント等をしっかりと反映して良いプランとしていきたい。</p> <p>学力向上することに伴い市外に出ていく子ども達もいるかもしれないが、それは決して丹波篠山を捨てるための学力ではなく、いずれ丹波篠山を盛り上げる学力になると考える。親も含めた意識改革を図り、学力向上を推進してほしい。</p>
前川教育長	<p>報告 4「夏季休業中における小学校と児童クラブの連携について」学校教育課説明を求める。</p>
酒井次長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
垣内委員	<p>管理職だけでなく教諭も児童クラブに訪問しているとのことで、連携が密にとれており安心した。</p> <p>小学校の児童クラブ訪問時に夏季休業前にはなかった新たな児童間のトラブルを発見するといった事案はあったのか。</p>
酒井次長	<p>新たなトラブルを発見するという事案はなかった。夏季休業前にトラブルがあった児童が同じ児童クラブに通所するため、事前に小学校から児童クラブ職員に情報提供をしていたが、「仲良くしている」といった報告を児童クラブ職員から受けるなど良い連携が図れていた。</p>
酒井委員	<p>A L T が児童クラブに出向き児童と交流する取組は素晴らしいと思う。新聞社等への情報発信はなされたのか。</p>
酒井次長	<p>情報提供をしている。</p>
酒井委員	<p>地域の住民や保護者も児童クラブの運営に携わっていくことを検討する必要があるのではないか。閉ざされた空間とせず、地域に開かれた教育を児童クラブでも実施することが子どもにも地域にもメリットとなると考える。</p>
前川教育長	<p>報告 5「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課説明を求める。</p>
尾松課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
前川教育長	<p>報告 6「令和元年度 9 月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課説明を求める。</p>
大野指導主事	<p>《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員	<p>「必要なものは何か」を自ら考えて学びに取り組めるように宿題のあり方を含めて、子ども達が主体的な学びが身に着けられる仕組みを整えてほしい。</p>

前川教育長	報告6「第14回全国給食甲子園の第1次・2次予選の結果について」学校給食センター説明を求める。
齋藤所長	《議案書に基づき説明》
中村委員	給食甲子園兵庫県代表おめでとうございます。 給食甲子園を知らない市民が多いので、そこも含めた周知をお願いしたい。今回の情報の第一報をネットニュースにより知った。次回は、教育委員に速報をお願いしたい。
酒井委員	除去食対応は他市にない素晴らしい取り組みであるので、こちらも市民への周知をお願いしたい。 市長部局と連携して、給食での地元産食材使用量を増やしてほしい。愛媛県今治市では、給食に地元産食材を重量ベースで半分使用している。丹波篠山市も「農都」を宣言しているので、給食甲子園に提出した献立同様、地元産食材を多く使用して、子ども達が地元産食材を味わう機会を増やしてほしい。 また、給食甲子園に参加、選出されることも大事だが、それに伴って変わった意識や新たにできた繋がりが重要である。今後もそこを意識して給食事業に取り組んでほしい。
垣内委員	多くの努力や苦労を経て今回の選考結果があると思う。今後新聞社等へ情報発信する際は、そのことも伝えてほしい。
前川教育長	今回の選考結果によって栄養教諭や調理員のモチベーションが非常に高まったと聞いている。今後も安全安心でおいしい給食の提供を続けていきたい。
前川教育長	報告9「教育長報告」について報告する。 それでは、第6回定例教育委員会をこれで終了する。